

中 朝 風

平成27年10月20日

後期スタート！ 新たな目標に向かって頑張ろう！

平成27年度の後期がスタートしました。始業式での校長あいさつと生徒発表の一部を紹介します。

【校長あいさつ】

今日から、後期が始まります。3年生は、いよいよ進路について自分で選択し、挑戦していく時期です。自分の希望する進路の実現を目指し、悔いのないよう努力してください。2年生は、生徒会を引き継ぎ、本校を背負って立つ学年となります。伝統を引き継ぎ、発展させる活躍を期待しています。そして、1年生は、中学校の生活に慣れ、中学生にふさわしい力をつける時期です。先輩の姿に学ぶ姿勢をもち、自分自身の向上に努めてください。後期の学校生活で、皆さん一人一人が、自分のもつ力を存分に発揮できることを期待しています。

さて、前期を締めくくった「南中祭」は、「おもてなし」の心で頑張りました。「人をもてなす」ということの意味が、実感できたのではないかと思います。大事なことは、「相手意識をもつ」ということです。

私たちは、人との関わりをなくすことはできません。周りとの人間関係で悩みながら、社会性を身に付け、大人に成長していきます。では、安心して気持ちよく生活できる人間関係を築くためには、どうしたらいいのでしょうか。それは、「相手との言葉のやりとり」つまり、「コミュニケーション」が大事なのです。

「行く言葉が美しければ、来る言葉も美しい」という、韓国のことわざがあります。相手を思いやる優しい言葉かけをすれば、相手からもやさしい言葉が返って来るといことです。逆に、「売り言葉に買い言葉」という日本のことわざを聞いたことがあると思います。相手の気持ちを傷つけるような乱暴な言葉かけをすれば、自分もいやな思いをする乱暴な言葉が返ってくるということです。相手から返ってきた言葉に腹を立てる前に、自分が投げかけた言葉を振り返ることも、時には必要ではないでしょうか。言葉をかける前に、「相手が今どんな状況にあるのか」を、想像できる人になりたいですね。それが、「相手意識をもつ」ということです。

そして、相手に積極的に言葉をかける、ということも大切です。その基本は、あいさつです。あいさつをされて、いやな気持ちになる人はいないと思います。でも、あいさつを返してもらえなくて、いやな気持ちになった人はいないのでしょうか。「自分がされていやなことはしない」ということが、よりよい人間関係を築く上でとても重要です。

後期は、一人一人が、元気でさわやかなあいさつと、相手意識をもった優しい言葉かけを意識することで、みんなが安心して気持ちよく過ごせる学校をつくっていきましょう。



生徒発表から

【1年 佐々木愛香さん】

前期の反省を踏まえて後期の目標を次のように考えました。

まず1つ目は、体調を整えることです。前期では体調不良による早退が何度かありました。そこで後期は、前期よりも元気な日が増えるように、栄養のバランスを考えた食事や規則正しい生活を心がけたいです。

2つ目は、勉強に力を入れることです。中学校は、勉強が難しくなると聞いていました。小学校の頃に比べるとやはりレベルが上がっていて、最近では目標とする点数がとれなかったこともありました。そのため後期からは、自学の仕方を見直し、工夫した勉強をしたいです。自分に合っている方法を、早く見つけたいと思います。

3つ目は、中学生らしいあいさつをすることです。中学校に入って私が一番に感じたことは、「先輩方のあいさつのよさ」です。後期は、私も地域の方や先生方、そして先輩方に「さすが」と言ってもらえるように頑張りたいです。



【2年 久米優里花さん】

私が後期頑張りたいことは、3つあります。

まずは、学習です。前期の内容をしっかりと理解した上で授業を受けられるように、復習をしたいと思います。自学は、今まで以上に内容の濃いものにし、5教科全てに取り組みます。わからないことは、わかるまで繰り返し取り組みたいです。前期では、授業中の発表がまだまだだったので、自信をもって積極的に発表できるように頑張ります。

次に部活です。新人戦では自分の力を全て出し切れませんでした。しかし、相手の試合から、自分に必要なことや変えていかなければならないことを学びました。これから冬場の練習で体力をつけ、チームの力になれるように頑張りたいです。

最後に、生活面です。前期では少しずつ、自分からあいさつができたと思いますが、まだ足りないと思うので、そこをもっと頑張りたいです。

これからは、2年生が学校の中心になっていきます。生徒会役員だけではなく、翔響学年全員で頑張っていきたいです。そして、3年生のように、信頼される人になりたいです。



【3年 須藤陸斗さん】

僕が後期で頑張りたいことは2つあります。1つ目は、受検勉強です。前期では自覚が不足していて、あまり勉強に熱が入りませんでした。しかし、先生から受検の心構えについての話を聞き、このままではいけないと思い、勉強の量を増やさなければと思いました。これからたくさんのテストがありますが、自分のできる限りの努力をして、少しでも点数をアップさせ、最後まであきらめずに頑張りたいです。高校受検では、不安や緊張もあると思いますが、先生に教えていただいたことを心の支えにして頑張るつもりです。

2つ目は、生活面です。前期は、各教科の提出物などで注意を受けることがありました。注意されたことを肝に銘じ、同じ過ちを繰り返さないように、3年生としての自覚をしっかりとって過ごしていきたいと思います。

この仲間と顔を合わせるのも後わずかです。友達と今まで以上に親交を深めていき、苦しい時や悲しい時も、一緒に協力し合って最高の優輝学年にしたいです。



「南中祭」大成功でした！

南中祭では、88人の生徒一人一人が、「おもてなし」の心で自分の役割を果たしました。あいにくの曇り空でしたが、保護者の皆様や地域の方々がたくさんお出でくださり、生徒達の頑張りに、温かい拍手やご声援をいただきました。お陰様で、充実した「南中祭」になりました。お忙しい中、ご来校くださりまして本当にありがとうございました。



第61回読書感想文コンクール入選者紹介

【課題図書】	一席 中1	佐々木愛香	三席 中3	佐々木優花
【自由図書】	一席 中2	佐藤萌々寧		
	三席 中1	菊池 由佳	中3	佐藤 紅美

おめでとうございます！